

ブナ里交流町内ネットワーク設立趣意書

平成の時代を迎えた黒松内町は、本町特有の財産である「北限のブナ林」と「牧歌的な農村風景」を生かして、交流人口の創出に視点を据えたまちづくりを推進してきました。

この間、本町に訪れてくれる方の中から、空家を探し、そしてお店や住宅を建てて移り住んでくれる方も現れ、黒松内の良さを分かってくださる方が現実にいるんだということを実感しました。

新たに黒松内町民に仲間入りしてくださった方々は、元々の町民が持ち合わせていない種の「経験」「ノウハウ」「人脈」などの財産をたくさん持ち、その方々の暮らし自体がまちの印象を大きく高めてくれています。

まちでこれまで受け継がれてきた「歴史」「風土」などの財産と新たな財産が一つになると、黒松内町はもっともっと魅力あるまちになることができるはずです。

新たな町民と古くからの町民が交流を深め、それぞれが持っている得意分野で力を出し合い、助け合えば、それは必ずやまちを元気にする原動力となります。

田舎での生活の体験談、空家情報、お試し移住体験などを掲載している町ホームページを御覧になった方から、本町での暮らしに関するお問い合わせが舞い込み、実際に移り住んだ方や住居を探している方がこれまで以上にいます。

四季の変化に富み、時間がゆっくりと過ぎ、豊かな自然に囲まれた北海道、そして黒松内町で生活をしたい、1年の半分でも生活をしたいという方が現れたら、現在黒松内町に暮らす私たち町民が、彼らの不安を一掃し、持っている情報を最大限提供して、やさしく迎えてあげることが大切です。

そのためには、今、正に私たち町民が一丸となって、何時でも・何処でも・誰でもが、私たちの新たな仲間になるであろう方々の気軽な相談相手となり、一緒に課題を克服するためのネットワークを整備することが必要です。

平成19年

ブナ里交流町内ネットワーク
設立発起人代表 菅原正史